

## くじゅう～法華院温泉で鍋パーティー～

【報告者】H田

【日時】2018年12月29日～30日

【天候】晴れ

【参加者】O原、K崎、みっちー、N谷、Y子、T田、Y中、I上き、I本、H田、  
他会員外2名

### 《コースタイム》

1日目 11:30 長者原→雨ヶ池→13:30 法華院温泉

2日目 5:30 法華院温泉→大船山→御池→法華院温泉→雨ヶ池→11:50 法華院温泉

### 《 報 告 》

今年一番の冷え込みという天気予報。雪のくじゅうを期待して、リュックに軽アイゼンを詰める。いやいや、それより今回の一番の楽しみは、10人を越えるメンバーでのキャンプだ。こんな大人数でお泊まり登山するのが初めてなら、メンバーさんの約半分の方が山で初めてご一緒させていただくのだ。前夜は緊張してあまり眠れなかった。

福岡から車3台に乗り合わせ、まずは基山SAで待ち合わせ。帰省ラッシュの影響はほとんどなく、正午頃に長者原到着予定だったが、30分くらい早めの集合になった。年末の休暇で登山者が多いのかと思っていたが、駐車場は思いのほか空いていた。

ここで、先発して星生山へ朝駆けの計画を出していたI上きさんと合流する。状況を聞くと、雪はほとんどなく霧がかかっている、少し待ってみたものの、ご来光は拝めなかったようだ。その後回復したのだろう、風はあまりなく、見上げると青空がのぞいていた。ただ気温が低くて、手袋をしないで支度をしていたら、すぐかじかんでしまった。

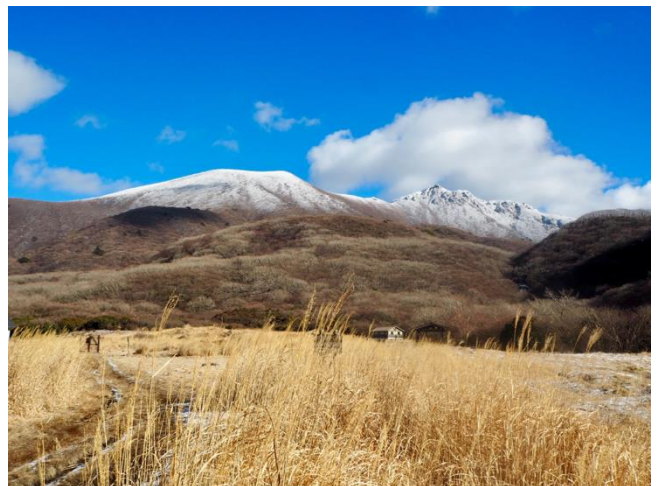
団食の材料をみんなで手分けしてリュックに詰めて、歩き出す。タデ原湿原を抜けて林内に入り、雨ヶ池を経て坊ガツルに出ると、法華院温泉はすぐそこだ。空気は冷たいけど、風は穏やかで歩きやすかった。総勢12名で、おしゃべりしながら歩くのは、賑やかでとても楽しかった。

法華院温泉に着いて、談話室のドアを開けると、既に団体様2グループと1組の個人客でにぎわっていた。私達のグループが座ると、もう満席になってしまった。

しばらく休憩することになり、各々荷物を降ろしビールを飲んだりし始める。

私はもう少し散歩したくて、坊ガツルのテント場まで歩いた。少し風が強くなってきたせいか、雲が次々に形を変えながら流れていた。法華院温泉のテント場は8張ほどテントがあったが、ここは2、3張りしかなかった。

戻って温泉に入ると、すぐ夕刻。談話室でお楽しみの懇親会だ！おご馳走は、キムチ鍋と水炊きの2色鍋、焼き網ではシシャモやちくわ、その他ポップコーンなどなど沢山ございまして。お酒も、おビールに日本酒、ワインと並び、話も弾んで親睦も深まり、楽しい宴は遅くまで続いた。



大船山の上を走るイノシミみたいな雲



今回のお鍋



キムチ鍋と水炊き



ポップコーン熱々



私のおビール

宿泊は法華院温泉のバンガロー。6～8人用2棟で、男子4人・女子8人で1棟ずつシェアした。

2日目の朝、午前5時。大船山へ朝駆けに向かうべく、寝ぼけながら支度する。揃ったのはI上きさん、I本さん、Y中さん、H田の4名。雲がかかっている様に見えたが、山頂で晴れて雲海が見えるのを期待する。談話室に荷物をデポし、暗く寒い外へ出た。前夜の影響が多少残るが、寒さで眠気は吹っ飛んだ。坊ガツルから樹林帯を経て、段原に出る手前頃にはヘッドライトは不要くらい明るくなっていた。雪が少し積もっていたが、軽アイゼンを着けなくても歩けた。山頂に上がる少し手間で日の出の時刻を迎えた。霧は未だ晴れず、御来光は現れてくれなかったが、ほんの一瞬雲がピンクがかって見えた。山頂から御池をのぞくと、池が凍っているらしかった。みんなで降りて、凍った池の上に乗って、歩いたり滑ったりしてしばし遊んだ。



大船山から下山し、気温を確認するとマイナス6℃しかなかった。

法華院温泉で他のメンバーと合流してから長者原へ来た道に戻る。夜中に降ったのだろうか、前日より山が白く見えた。長者原まで歩く間、気づかないくらい細かい雪がずっと降り続けていたらしく、帽子の上やリュックに、うっすら積もっていた。

今回の山旅は、長者原でそれぞれ解散となった。大晦日の1日前という実感はなく、雪山シーズンの始まりという心境だった。来年も、こんな楽しい山行がたくさん出来たらいいなと思った。

2019年も事故なく楽しく歩けますように！会のみなさま、よろしくお願ひいたします。

